

IV. 若年層向けの取組について

IV. 若年層向けの取組について

1. 若い世代に参加してもらうために必要な取組 (Q15)

教育現場の活用や教育教材の充実、SNS・インターネットを活用した情報発信、各種メディアを活用した情報発信、北方領土問題に関心を持ってもらうための取組など、啓発や広報を重視する意見が多く寄せられ、北方領土問題について知る機会・学ぶ機会の充実が求められている。

Q15. 若い世代の人たちに北方領土問題に関する活動に参加してもらうためには、どのような取組が必要だと思いますか？どのようなことでも結構ですので、ご自由にお書きください。

意見	件数
学校・大学の授業・行事、職場、所属団体などでの取組	271
教育現場の活用・教育教材の充実	139
<ul style="list-style-type: none"> ・学校の授業の中で、北方領土についての特別授業などを行う。(社会の授業で、歴史や問題として触れるだけでなく、元島民の方の話を聞いたり、積極的に活動する方の講演を聞くことなど) ・学校教育の場で現在よりもさらに詳しく北方領土問題について学ぶことが必要だと感じる。現在の初等・中等教育では、北方領土問題について骨子の部分しか習わず、あの情報のみを受け取って北方領土問題の解決に尽力したいと考える若い世代は失礼ながらあまりいないだろう。私たちがのように現地で研修会に参加した者などが積極的に教育の場に出向いて行って、子どもたちに基礎的な学びの場を提供することが、未来におけるより多くの活動参加者の確保に必要なと思った 	
北方領土をテーマにしたイベントの充実	89
<ul style="list-style-type: none"> ・イベントなどで、ゲームをしながら学べるなど、堅苦しくないが、関心を持つきっかけになるもの ・堅苦しいイメージがついてしまっているので、もっと気軽に参加してもらえるような行事やイベントの開催、署名活動のオンライン化、上記の活動を行っているという発信(宣伝)をSNSで行うなど ・若い世代の人たちが興味を持つような情報発信やイベントを行う 	
隣接地域訪問・四島訪問の機会の充実	43
<ul style="list-style-type: none"> ・(今は難しいかもしれないが) もっと気軽に北方領土に訪れる機会があるとよいと思う。ビザなし交流は数日かかる上に、手間がかかるので、なかなか参加しづらい ・現地へ行く(目で見て実際に感じることは多いと思うから) ・実際に北方領土に行ったり、北方領土に住む子達と交流することが本当に一番大事だと感じた。それも堅苦しくなく、好きなアニメ、ゲーム、音楽、スポーツのような趣味を共有したり一緒に取り組んだりするのがいいと思う 	
SNSやインターネットを活用した情報発信	171
SNSやインターネットを活用した情報発信、情報提供	151
<ul style="list-style-type: none"> ・近年、SNSでの情報発信は、多大な影響力がある。特にテレビやYouTubeで、動画という形にして、みんなが楽に理解できるような取組が必要だと思った ・国が問題提起をする、わかりやすくセンスのある動画を作成し、YouTubeやInstagram、TikTokなど、各種SNSで発信する ・SNSを使って知らせることで、全国の若者に見てもらえることができるので、インターネットを活用することも必要だと思う 	
SNSやインターネットを活用した有名人、インフルエンサーを巻き込んだ情報発信	14
SNS・YouTubeで広告を流す	6

IV. 若年層向けの取組について

意見	件数
新聞、雑誌、テレビ、ラジオなどを通じた情報発信	58
テレビ番組で北方領土問題について取り上げる、特番などの放送 (報道、ドキュメンタリー、ドラマ、アニメ、バラエティ)	21
<ul style="list-style-type: none"> ・テレビ番組で、有名人を起用した番組をつくる。コロナ禍で自粛が続いているため、テレビ等での情報発信が効果的だと考える。しかし、ただの番組だと、北方領土というワードだけで抵抗があるため、若い世代をターゲットとした番組を作るべきだ(アニメ、バラエティ等) ・まずは現状を知ってもらいたいと思う。人気のあるテレビ番組とかでやったり、アニメでやったりしたら見ると思う。興味があっても、北方領土のことに触れる機会が少ないと思う ・ドキュメンタリーを1つでも多く見聞かしてもらおう。現実の出来事を知ることが考える一歩 	
マスコミ等を巻き込んだ情報発信、テレビ番組での有名人を巻き込んだ情報発信	19
テレビCMの放送、広告の掲載	13
映画の配信	2
新聞、ラジオ番組での情報発信	2
絵本、マンガなどの作成	1
領土問題について知ってもらい、興味・関心を持ってもらうための取組	57
<ul style="list-style-type: none"> ・まずは、あまり堅すぎずに領土問題の今をリアルに伝えることが必要だと思う。自分自身もこの活動をするまで、自分の国のことではあるが、領土問題について関心も興味もなかった。この活動を始めて、領土問題について真剣に考えるようになったので、そのチャンスを与える場をもっと、増やすことが大事だと思う。その際に、あまりお堅いイメージをつけず、気楽にこの問題を知れるようにした方が良いかと思う ・「行ってみたい絶景ベスト5」「マイナス20度の極寒の島で〇〇してみた」「世界三大漁場の1つが日本に! ?ここでしか食べられない海の幸」などと、北方四島の魅力を活かした発信の仕方をして、島自体に興味をもってもらうことが啓発のファーストステップとしては大切だと思う 	
自治体の行事・広報誌などの協力・周知	16
気軽に参加できるような活動や取組	12
インフルエンサー、有名人、著名人からの情報発信	10
署名活動への参加、開催	10
署名活動の場や機会の拡充	6
<ul style="list-style-type: none"> ・署名活動など、簡単に参加できるものから始めて関心を持ってもらう ・署名活動を多くの地域で開催 ・積極的に署名活動の場を設ける ・高齢者の方々の集まりなどの機会を作って署名活動に協力していただく ・署名活動など実際に体験することで、印象に残りやすくなる ・署名活動のPR 	
SNS・ネットを使った署名活動・署名活動のオンライン化	3
有名人を巻き込んだ署名活動	1
(ジョバンニの島のような) アニメ啓発作品の制作	8

IV. 若年層向けの取組について

意見	件数
その他	4
資金面での援助	1
北方領土（島）から急に出された時のように、もし自分が住んでいる町から出ていけと言われたらどうするかという活動	1
北方領土問題は、学生であればみな知っている。解決策を立てる動きをするべきだ	1
コロナ下で、北方領土問題よりも日々の生活を過ごすことに必死になっているので、コロナが落ち着かないと、地に足をつけて取組ができないのではないか	1